

2015年8月6日

洪水リスクレポート No.15-004

インターリスクアジアタイランド

ミャンマーで洪水が発生

7月中旬から続く記録的な豪雨により、ミャンマーの14の管区・州の内、12の管区・州で洪水が発生し、被害はさらに拡大する可能性があります。こうした事態を受けて、政府は特に被害が深刻な4つの管区・州を洪水による被災地域に指定しました。

原因

季節風による大雨が7月16日頃から継続的に降った結果、ミャンマー各地で河川水位が上昇して河川氾濫が発生しました。加えて、ベンガル湾で発生したサイクロン Komen の影響により、さらに状況が悪化しました。7月26日にベンガル湾で発生したサイクロン Komen はバングラデシュに上陸したのち、インド東部に進路をとり両国に洪水や土砂崩れなどの大きな被害をもたらしましたが、ミャンマーでは特に洪水被害を深刻化させました。



サイクロン Komen の進路

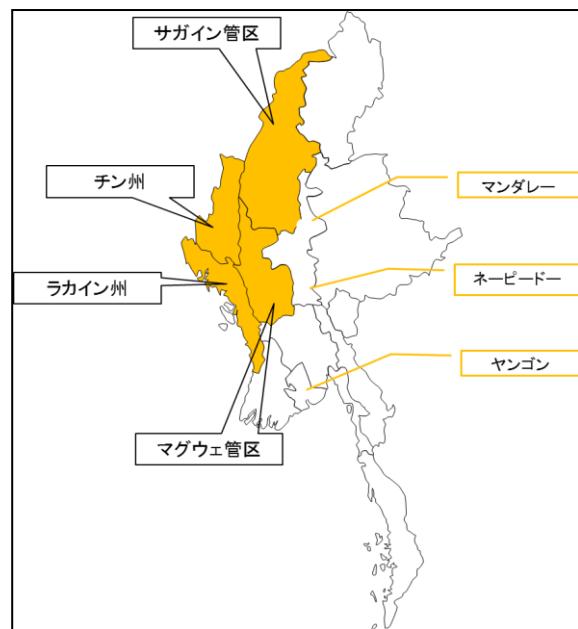
被害状況

国連機関のUNOCHA（国際連合人道問題調整事務所）によると、2015年8月4日時点で被災者数は約26万人（うち子供は約9万人）、また69人の死亡が確認されています。約6000戸の家屋が全壊し、農耕地は約40万ヘクタールが浸水（うち約20万ヘクタールに作物の被害が発生）したほか、道路、鉄道や橋の被害が発生しているとの情報があります。政府は特に深刻な影響を受けている中部と西部の4つの管区・州（サガイン管区、マグウェ管区、ラカイン州ならびにチン州）を被災地域に指定しました。

指定地域のうち、西側に位置しているラカイン州ならびにチン州では最大で水位が4.5メートル近くに達していることがあります。チン州では周辺の浸水や土砂崩れにより道路網が寸断して孤立している一部のエリアに対して、飛行機による支援が実施されています。

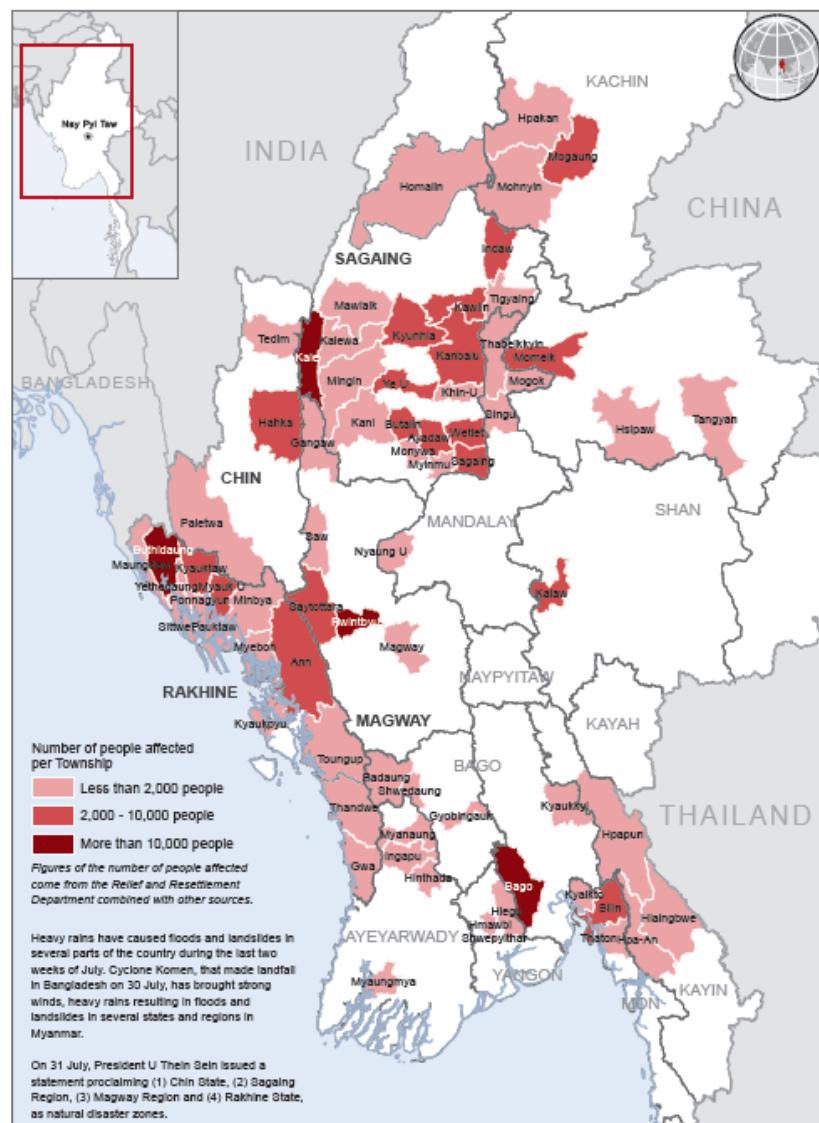
またマグウェ管区のMoneダムとKyeeohn-kyee-waダムでは7月下旬に、貯水量が限界に達したため、放水を開始しています。現時点ではダムの構造・設備には問題はないとのことですが、下流域では住宅の被害が発生しています。

今回の洪水は河川の氾濫を原因とする洪水としては、この数十年で最悪といわれています。



被災地域に指定された4つの管区・州

以下は UNOCHA (国際連合人道問題調整事務所) が公表している洪水の影響度を表した地図です。
郡（行政区）毎の被災者の数が 2000 名以下の郡は薄いピンク色、2000 名から 1 万人の郡はピンク色、
1 万人以上の郡は濃いピンク色で表示されています。



8月3日時点での洪水の影響度合いを示した地図



浸水した村

InterRisk Asia Thailand

政府の対応

7月31日にミャンマー政府はサガイン管区、マグウェ管区、ラカイン州ならびにチン州の4つの地域を洪水による被災地域に指定しました。しかしながら、洪水・土砂崩れ・倒木などによる道路網の寸断により、被害調査や支援活動は渉っていません。

また被災者へのインタビューでは、洪水に関する警戒情報が政府から公表されなかったとのことで、こうした政府の対応不足が被害を拡大させた可能性があります。

支援活動

ミャンマー政府、国連、WHO、赤十字ならびにNPOによる支援活動が開始されていますが、詳細は不明です。ミャンマー政府によると、ミャンマー外務省は国際社会に対して、食事・水、避難場所、日常品、医療などに関する支援を要請しています。またユニセフ（国連児童基金）が、被災地域で浄水剤や衛生キットの配布を始めているほか、日本などのNGOが支援のため現地入りしているとのことです。

一方でUNOCHA（国際連合人道問題調整事務所）はミャンマーにおける緊急時の対応プランを策定しており、NPOなどと連携した支援活動が始まっていると思われますが、現時点でのどのような対応がされているかは公表されていません。

渡航上の注意

前述の通り、現在ミャンマーの4つの管区・州が被災地域に指定されています。渡航の際には現地の情報に基づき行動することをお勧め致します。

また、日本の外務省はミャンマーでの洪水を受け注意喚起を行っています。

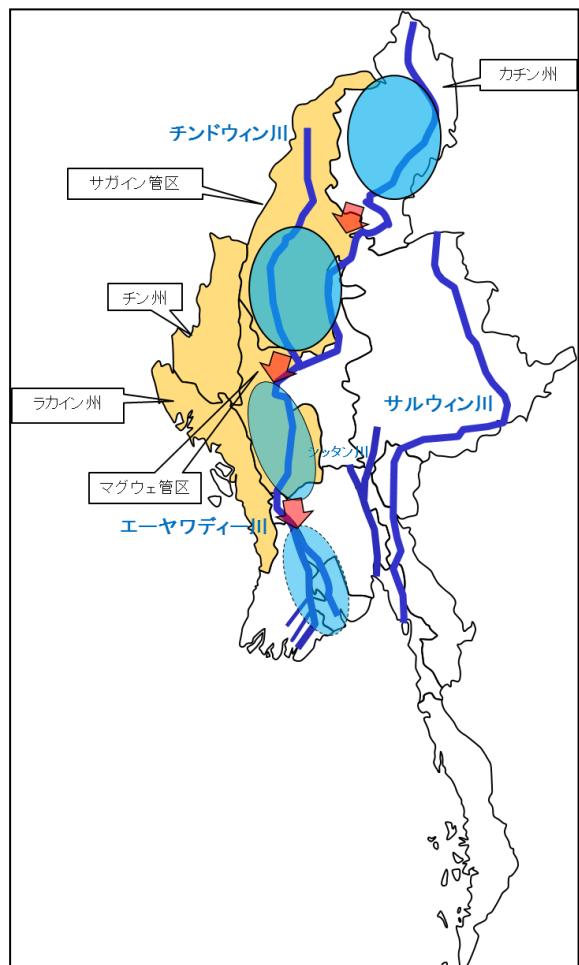
(<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2015C236>)

今後の予想

ミャンマー気象庁によると、カチン州で、今後数日間は激しい雨が予想されることです。

現在大きな洪水被害が発生しているのは、エーヤワディー川上流域とチンドルイン川流域ですが、前述のカチン州は被災地域に指定されているサガイン管区より上流にあることから、カチン州で降った雨がエーヤワディー川を下ってサガイン管区の状況を悪化させる可能性があります。

また、カチン州やサガイン管区から、さらに下流に大量の水が移動するとマグウェ州のダム周辺などで洪水被害が拡大する可能性があります。



想定される浸水エリアの移動

*橙色のエリアは指定被災地域

*青丸のエリアは現在浸水している地域

*赤丸は水が南下する可能性がある地域

Reference Information

https://en.wikipedia.org/wiki/2015_North_Indian_Ocean_cyclone_season#Cyclonic_Storm_Komen
<http://www.aljazeera.com/news/2015/08/myanmar-floods-150803061643736.html>
<http://reliefweb.int/report/myanmar/torrential-rains-force-mone-kyeeohn-kyee-wa-dams-release-water>
<http://reliefweb.int/report/myanmar/torrential-rains-force-mone-kyeeohn-kyee-wa-dams-release-water>
https://www.sheltercluster.org/sites/default/files/docs/Myanmar%20Emergency%20Response%20Preparedness%20Plan_0.pdf
<http://www.dmh.gov.mm/10-days-weather-forecast-2872015>
<http://www.oknation.net/mblog/entry.php?id=963684>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower 9th Floor. South Sathorn Road.
Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand
<http://www.interriskthai.co.th/>
Direct: +66-(0)-2679-5276
Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。